様式Ｂ（マニュアル様式）

政務活動報告書

令和２年３月２６日

〔会派名：　　　心風会　　　　　　　　　　〕

代表者氏名	永岡　禎　　　印	記録者氏名	莉原　広樹　　　印
活動者氏名	・永岡　禎・莉原　広樹		
活動日	令和２年２月12日（水）～令和２年２月13日（木）		
活動先	鹿児島県薩摩川内市		
活動目的	国体実施に向けて		

名張市議会
受
'02.3.26
第　　号

日程　2月13日（木）

場所　薩摩川内市役所（薩摩川内市神田町３番２２号）

目的　国体実施に向けての聞き取り

概要

名張市ではとこわか国体・とこわか体育大会競技が行われることもあり、スポーツに関連するサポートや環境整備が求められている。本年１０月３日より国体が行われる鹿児県ですが中でもホッケー競技が行われる薩摩川内市に行き、現在の状況や実施に向けての課題等を伺う。薩摩川内市では実行委員会をつくり、様々な団体の協力のもと実施にむけて準備を行っている。

着目点

・４８年ぶり２回目の開催
・経済効果は鹿児島県で６１９億円の予想
・開催種目は正式種目がホッケー・バスケットボール・ウエイトリフティング・軟式野球・空手道　デモンストレーションがバウンドテニス
・受入競技関係者数は全競技合わせて１８１３名
・ホッケーは２会場あり照明・控室等完備
・市役所内に国体推進課を作り、１５名程度の体制
・宿泊施設の完備はできている。県がとりまとめえを行う
・弁当の配達方法もまだ検討している
・ボランティアは目標数の半数以下の確保状況

名張市において

薩摩川内市は国体の開催に向けて準備が着々と進められていた。しかし課題も多くあり、万全に競技に臨んで頂く体制はもちろんのこと、大勢の来訪者の対応やおもてなしまで考える必要がありました。ボランティアもまだ必要数の半数以下の状況で、同様の問題が名張市でも起こる可能性がある。ホッケー施設の見学も行い、照明や控室等もまだまだ名張市より優れている部分が多くありました。国体で名張市に来ていただいた方が良かったと思ってもらえるようにしっかりと、準備と受入体制の構築しなければと感じました。